



新しいパパイヤの栽培方法を開発した生産農家の川満芳照さん、島本哲男さん、玉城真男さん(左から)。市が特許を出願しました

人口と世帯数

総人口	45,020(+53)
男	22,530(+26)
女	22,490(+27)
世帯数	17,762(+38)

(平成13年11月末日現在)

今月の主な内容

- 情報公開制度スタート…………… 2
- パパイヤ栽培方法を開発…………… 3
- 伊原間出張所に救急車を配備…………… 4
- 市長のおはようロマンメッセージ …… 5
- 2001市政のおゆみ…………… 6
- 市立・認可保育園の園児募集…………… 7
- ありんくりんトピックス…………… 8
- 石婦通25周年記念芸能大会…………… 9
- 初の八重山観光めぐり…………… 10
- 年末年始の業務について…………… 11
- 市立幼稚園児の募集…………… 12

石垣市の情報をインターネットで <http://www.city.ishigaki.okinawa.jp>

編集・発行/沖縄県石垣市美崎町14番地 石垣市総務部広報広聴課
TEL.(09808)2-9911(代)・(09808)2-1243(直)・FAX(09808)3-1427

より開かれた市政を推進



↑大濱市長に情報公開制度のあり方についての答申を行う制度審議会の前津榮健会長

制度審が答申

情報公開制度スタートへ

新年度からの運用めざす

より開かれた市政を推進する情報公開制度が、新年度からスタートする運びとなりました。同条例起草案の諮問を受けて審議を行なっていた石垣市情報公開制度審議会（前津榮健会長）は十一月二十八日、基本的な考えをまとめた答申を提出しました。市では答申を十分に尊重し情報公開条例案のほか、住民のプライバシーを守る個人情報保護条例案も合わせて十二月定例議会に上程、二〇〇二年四月一日からの制度運用をめざしています。

ざん新で利用し やすい制度に

情報公開制度は、市が保有する情報を市民の皆さんの請求に応じて公開することにより、市政に対する理解を深めていただき、市民参加による開かれた市政を一層推進する制度です。

石垣市情報公開制度審議会は、市民代表委員をはじめ学識経験者、女性代表ら九人で構成され、今年九月にスタートしました。これまで六回の会議を開催し審議を重ねてきました。

答申は、情報公開・個人情報

保護制度のあり方について、同条例起草案に対する論

点を十五項目に整理して検討審議、その内容を提言と説明の形でまとめています。他の自治体に比べてもざん新できめ細かい進んだ制度の確立をめざした内容になっています。

出資法人等にも 情報公開の責務

実施機関（公開請求の対象）については、市のすべての執行機関のほか、議会についても「草案どおり」と提言。情報公開の理念は議決機関である議会にも及ぶもの、と説明

しています。市と密接に関係する出資法人等（団体を含む）についても、「情報公開を推進する措置を講じる責務がある旨を条例上に規定すべき」と提言しています。

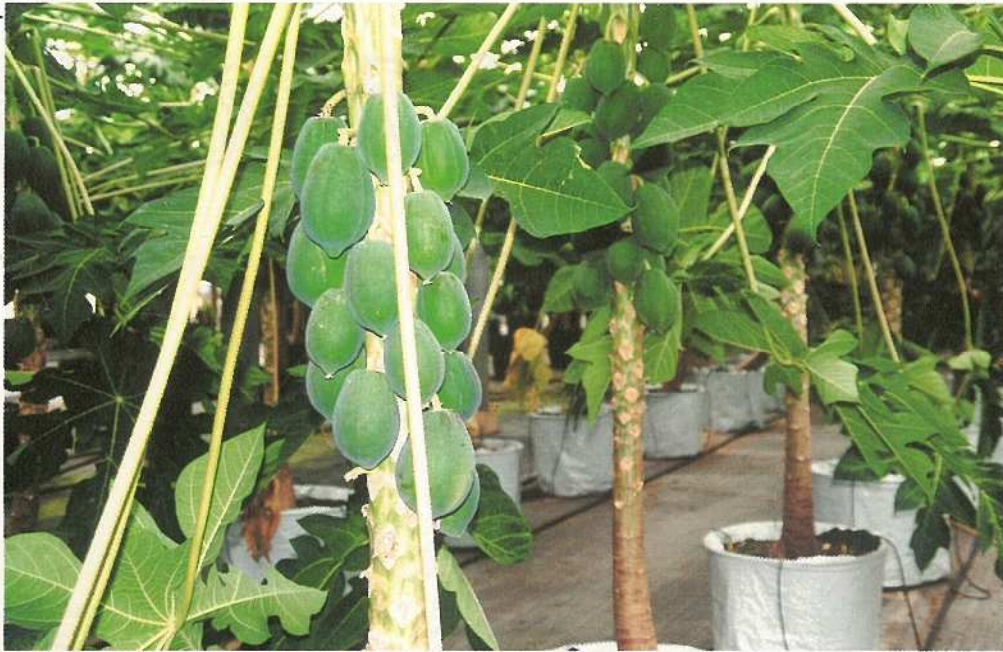
また、この条例による公文書の公開のほか、「実施機関に置く附属機関及びこれに類するものは、その会議を公開する」との条項を明記すべきと提言しています。この条項は県内で石垣市が初めてのものです。

答申では関連施策及び諸課題についてもふれ、市民参加型の制度運営審議会の設置、情報公開の窓口の一元化を図る（仮称）石垣市情報公開センターの設立、公文書の適正管理・検索資料の作成、請求者に提供する「加工情報」のシステムの導入など利用しやすい情報公開制度の運用を求めています。

また、職員一人ひとりが、市民に対する市の「説明責務」を全うするため、原則公開の精神で制度運用に努めることを強調しています。

パパイヤ栽培方法を開発

市が特許出願、共有財産に



画期的な栽培技術でたわわに実をつけたパパイヤ

石垣市は「パパイヤの栽培方法」について、このほど特許出願を行いました。市内の生産農家三人が、市と研究機関の支援を得て画期的な新技術を開発したものです。特許出願をすることで新栽培方法を生産農家の共有財産とし、認定農家を育成して普及を図ることが大きな目的です。高品質のパパイヤを安定的に生産し、かつ安価で供給できるとあって石垣ブランド生産の一大拠点化に向けて明るい展望が開けました。



↑コスト低減につながる「切り戻し」について説明する玉城さん

認定農家の育成でブランド化推進

生産の一大拠点に

国内の果実用パパイヤ市場は、ハワイ産に独占されているのが現状です。また、野菜用は県内で極めて需要があるにも関わらず、十分な供給が出来ない状況です。市内でもパパイヤは、露地とハウスで栽培が進め

高品質果実を
定期的に生産

られてきました。しかし、台風や土壌病害の発生などで安定生産が出来ませんでした。

新しい栽培方法は、これまでのハウス栽培の課題をクリアした画期的なものです。①雌株と両性株のみを増殖する優良種苗の生産が可能になり、労力の無駄が省ける②ポット、ベンチなどで隔離栽培を行なうことで、土壌病害の蔓延を防ぎ、ハウスの連続使用が可能になる③透水性、通気性を高めるため培地にサングラスを入れる④培養液を自動点滴灌水にする⑤パパイヤの丈が屋根に到達する時点で切り戻しする。早く再収穫ができ、同じ株で収穫の長期化が可能になりコスト低減につながります。

石垣市では新栽培法の普及を図り、高品質な石垣産パパイヤの安定供給体制、ブランド化を推進して全国に売り出していくことにしています。

北部住民の命を守る

伊原間出張所に救急車を配備

**運用
開始**

急患をリレー搬送

北部地区の急患搬送車運用開始式が、十一月二十二日に石垣市消防署の伊原間出張所で行なわれました。平成十一年十一月の北部地区「あすの地域を考えるつどい」で、同出張所への救急車配備が提案されて以来、諸課題をクリアして今回の運用開始にこぎつけたものです。

運用開始式で前上里進伊原間公民館長は「これまで時間と距離の壁に勝てず、どうしようもない思いをしてきました。長年の願いが実現、救急車配備に感謝します」と述べ

の皆さんによる舞踊、いしがき児童合唱団による「コーラス」があります。問い合わせ先は石垣市総務部広報広聴課 電話二一・二四三（直通） 二一九九一一（内線一三一・一三三）

初春の交歓会
（新年祝賀名刺交換会）
が、平成十四年一月四日（金）午後四時からホテル日航八重山（八重山の間）で開かれます。
恒例の初春の交歓会で、八重山民俗舞踊保存会



↑伊原間出張所に配備された救急車の前でVサインの子どもたち

べ、地区住民の命を守る急患搬送車の運用スタートを喜んでいました。
配備された救急搬送車には、血圧測定器、可搬式呼吸

装置など標準仕様機材が搭載されています。職員二人体制で業務に当たり、急患が発生した場合には、伊原間出張所の救急搬送車が出動、本署か

ら同時に出動した高規格車に引き渡し、高度な救命措置を行ないながら病院に搬送するリレー方式がとられます。
運用開始式では、大濱長照市長、小底嗣洋議長、高田勤消防長、前上里公民館長の四人でテープカットを行い運用がスタートしました。

石垣市健康・福祉センターに決まる

「ター」等もありましたが、親しみやすく、分かりやすいとの観点から「健康・福祉センター」に決定されました。

石垣市総合保健・医療・福祉センター（仮称）の正式名称が「石垣市健康・福祉センター」に決まりました。
名称については、市民から九十七点の応募がありました。名称審査会（知名保会長）は、市内大川の赤嶺時子さんの作品を最優秀賞に選びました。
公募の中には、「どろがんじゅセンター」等もありましたが、

本日は、いまいろいろと話題になってる狂牛病(BSE 牛海綿状脳症)についてお話をいたします。

狂牛病は石垣市の方でも深刻な影響が出ており、いわゆる風評被害ということで畜産業界、あるいは食肉を扱う業界に大きな影響を与えているわけです。

そのことについては、すでに石垣市、県、国においても牛肉の安全宣言を行っており、信頼回復に努めているところですが、しかし、狂牛病につきましても誤解されているところもあり、まだまだ原状回復には至っていないというのが実情ではないかと、気にしているところですが。

イギリスでの狂牛病について最新報告された資料では、イギリスは広く畜産が行われているところで、とりわけ乳牛の生産が盛んなところでありました。イギリスの乳牛農家では、いまいろいろと問題となっている肉骨粉という飼料を与えていたというわけです。たとえば牛が屠殺されて肉や内臓が利用されますが、骨や脳など不要な部分がでて

きます。これを捨てずに加工して動物用の飼料として肉骨粉が広く出回っていたという時があります。この肉骨粉を使った飼料は、もともとが牛を飼料としたもので、結果的に、牛が牛の肉を食べるといふ状況にあったことになりま

誤解されている狂牛病

消費者の信頼回復

市長のおはようロマンメッセージ⑥



↑すべての和牛は安全です

界では起きないことです。ライオンのように肉食の野獣であつても、自分の仲間を食べたりすることはありえないことです。もちろん、ライオンはライオン以外のシマウマや鹿を食べたりすることはありますが、自分の仲間を食うと

す。

本来、牛は草食動物であり、肉食ではありません。しかも、牛が牛を食べるといふことは生命維持体系においてありえないことであります。同種が同種を食べる、いわゆる共食いというものは、自然

こののはけつして起きないというのが動物界、自然界の厳格なルールになっているわけです。そのようなルールがないとお互い同士を滅ぼすことになるわけです。これが牛の世界においては、人工飼料を作つて、その

中には牛の骨や血液、脳組織等が入つていて、これが加工されて、肉骨粉という飼料となつて広く出回っていたということがありました。これはある意味では廃棄物の利用、あるいはリサイクルにつながるわけですが、牛に同じ牛の肉をあげたということは、大きな異常を起こしたというように思われます。そして、そのスポンジ状になつた脳組織の中から異常たんぱく質が見つかり、それは異常プリオンという名前と呼ばれ狂牛病の原因であることは、ほぼ間違いないようです。

このプリオンが入つている飼料がなんらかの形で日本国内に入つてきたと思われます。国内で発見された狂牛病の牛三頭は食用の肉牛ではなくてミルクをとるための乳牛です。ミルクには、このプリオンは移行しないということですが、乳牛からとれたミルクは一切問題ないといわれています。国は十月四日以降、肉骨粉の輸入および使用を一切禁止する一方、同十八日以降には、出荷時に解体した牛を検査し異常があれば焼却処分する処置をとっています。いま国内で異常がたつという報告は一例もありません。すべての和牛が安全であるということが実際、検査上も証明されているわけです。

いま食用肉に対して消費者の不安がいろいろあるのはまだまだ説明が不足であろうと思われます。石垣牛は大変評判が良い牛ですので、さらに私たちが力を入れて安全であるということを紹介していく必要があるかと思ひます。異常プリオンが仮に存在しても肉用組織には行かず、脳の組織、あるいは脊髄、眼球、回腸など決まつた部分にしかないわけです。もともと食用肉は安全ですが、さらに検査を加えて二重、三重に安全措置を取つた上で、市場に出回り、そして消費者にわたるといふしくみを国は確立をしておりますので、今後とも和牛に対する消費者の信頼を心からお願いするしだいであります。

「市長のおはようロマンメッセージ」十一月三十日放送の要旨です。

1月 市健康・福祉センター着工

市民の健康を守る総合サービス拠点として石垣市健康・福祉センターが一月三十一日に着工。全体事業費は約二十五億円。健康診断、予防接種事業、老人福祉事業の充実強化等の各種設備機能があり、健康都市の実現をめざす。■

■につぼん丸歓迎セレモニー(十七日) ■福祉のまちづくり審議委員委嘱状交付式(一



建設された市健康・福祉センター

2月 公共下水道の一部供用開始

十三日) ■平真小マーチングパレード(二十九日)

石垣市では平成二十五年度までに市街地全地区を対象に公共下水道事業の整備を進めている。その中で西処理区浄化センターが完成したことに伴い、美崎町、浜崎町、新栄町、新川一部地域で一部供用



供用を開始した西処理区浄化センター

3月 第三次総合計画基本構想を策定

市の将来像とそれを実現するための長期的かつ基本的な施策の方向を示し、まちづくりの基本理念となるもの。計画期間は平成十三年から向こう十年間。■石垣ひまわり基金法律事務所開設(七日) ■

4月 組織機構改革スタート

地方分権時代にふさわしい行政改革の推進や健全な行政運営に向け、新たに企画開発部を設置し五部体制を導入。より一層の行政サービス向上をめざして新たな組織機構の基で業務がスタート。■あやばにモル鷺の鳥モニュメント除幕式(三日) ■トライアスロン石垣大会(二十二日) ■明和の大津波遭難者慰霊祭(二十四日) ■基幹介護

5月 「八重山写真帖」二十世紀のわだち」発刊

明治以降一〇〇年間余の八重山住民の「わだち」(歩んできた跡)を綴った写真帖。収録されている写真資料は、市民や島内関係者から提供された写真の中から一五七二枚を編集した。■ZEPHUSふたりのビッグショー(七日) ■韓国劇団聖地一行来市(二十五日) ■おおはま幼稚園園舎落成(二十六日) 支援センター開所(二十五日)



発刊された八重山写真帖

6月 高規格救急車の運用開始

市消防本部は日本損害保険協会から車両の寄贈を受け、救急処置に必要な内部資機材を充実。救急現場や車内から救急救命士が医療機関に患者の医療情報を伝送し、救急救命処置を早く応じるシステム。■人間国宝玉那覇有公氏紅型お披露目(十五日) ■宮良長包音楽祭(十六日) ■パイン・マンゴージュぱつく初出荷(二十五日)



配置された高規格救急車

7.8月 宮良、岩崎両氏を名誉市民顕彰

市制施行五十四周年記念式典(七月十日)において、故宮良當壯、(方言学者)、故岩

のあゆみ

組みが始まりました。10月から11月にかけては、米国での同時多発テロの影響による観光産業落ち込み打開策、狂牛病の安全宣言など外的要因による風評被害を乗り越えようとの緊急対策が相次ぎました。12月には人口4万5千人突破セレモニーが行なわれ、2000につなげる元気の出る話題となりました。

2001市政

今年も残すところわずかとなりました。1月から12月までの主な出来事を追いながら2001年市政のあゆみを振り返ってみました。健康都市づくりの拠点となる健康福祉センターの建設が1月にスタート。4月には企画開発部を新設、5部体制での組織機構改革が動き出しました。9月には全庁態勢による赤土対策本部が設置され、本格的な取り

9月 赤土対策本部を企画開発部に設置

赤土等の流出による河川及び海域環境への影響が深刻となる中で、市は企画開発部地域振興室内に赤土対策本部（大濱長照本部長）を設置（四日）。全庁態勢で積極的に赤土



赤土対策本部を設置

等流出防止対策の取り組み強化を図る。

10.11月 石垣港・花蓮港姉妹港提携

石垣港と花蓮港の姉妹港提携調印式が、二十五日に台湾花蓮市内で行なわれ、両市民の友好促進と貿易・港湾事業の発展を誓った。■米国同時テロに伴う緊急対策会議（十七日）■防災訓練（二十一日）■パイアの新栽培方法の特許出願現地記者会見。ブランド産地化に大きな期待。（三



姉妹港提携の調印式

十一日）■石垣牛の安全宣言（十一月二日）風評被害打開のため内外にアピール。



4万5千人突破セレモニー

市の人口が四万五千人を突破。住民基本台帳法に基づく人口が四万五千人を超えるのは過去初めてのことで、着実な人口増加は市の発展ぶりを物語る。三日の記念セレモニーで対象者五人に記念証書・記念品を贈呈。

12月 初めて人口四万五千人を突破



名誉市民の宮良(右)、岩崎の両氏



慰霊碑建立除幕式（八月十五日）■ジュニアアトライアスロン石垣島大会（八月十九日）

市立保育園と認可保育園の園児を募集

平成14年度保育所（園）児を下記のとおり募集しますので、入所（園）を希望される方は必要な書類を添えて石垣市役所の児童家庭課へ申請してください。

【入所基準】 家庭内で保育できない児童。

【手続きに必要なもの】

①保育所入所申込書 ②印鑑 ③住民票謄本 ④市税課税証明書（保育所関係・平成13年度） ⑤源泉徴収票・確定申告書の控え（平成13年分） ⑥勤務証明書 ⑦その他必要な書類 ⑧保育所入所申込書と⑨勤務証明書の用紙は児童家庭課に準備してあります。

伊原間保育所と川平保育所への入所を希望する方は④市税課税証明書と⑤源泉徴収票・確定申告の控えは必要ありません。

【受付期間】平成14年1月10日(木)から

平成14年1月31日(木)まで

障害児保育を希望される方は、1月31日(木)までに申込んで下さい。平成13年度の申請書は平成14年度には使用できません

【へき地保育所】「伊原間保育所」「川平保育所」はへき地保育所です。

【ゼロ歳児】ゼロ歳児は下記の保育所において、定員（6名）を募集しております。

- ①大川保育所②登野城保育所③石垣保育所④新川保育所
- ⑤オリブ保育園⑥あいの保育園⑦エンゼル保育園
- ⑧やしの実保育園⑨みよし保育園

【問い合わせ】

石垣市役所児童家庭課 電話 2-1704

入所できる保育所（園）と定員

	保育所（園）	所在地	定員
市立保育所	大川保育所	大川70	120
	登野城保育所	登野城890-12	60
	石垣保育所	石垣481	60
	新栄町保育所	新栄町7	60
	新川保育所	新栄町75-30	60
	伊原間保育所	伊原間20-4	30
認可保育園	川平保育所	川平907	30
	オリブ保育園	平得74	120
	あいの保育園	大川177	60
	エンゼル保育園	新川300-1	60
	やしの実保育園	大川577-2	90
	みよし保育園	新川362-5	60

**真喜良郵便局が開
局市内で8局目に**

真喜良郵便局（浦崎宜浩局長）が市内新川に新設されました。同郵便局周辺には市営や県営団地のほか、幼稚園や小学校があり、市内八番目になる同郵便局の新設は地域住民にとって便利になると喜ばれています。写真。



開局式は十一月十二日に行なわれました。関係者のテープカットに続いて、まきら幼稚園の園児たちが真新しい局

内を見学しました。まきら郵便局では、地域住民に愛し親しまれる郵便局をめざしています。

**負けないぞ!!
市綱引き大会**

生涯スポーツの振興と、地域づくりを目的にした石垣市綱引き大会（主催・市教育委員会、市体育協会）が十一月十一日に市総合体育館で開催されました。大会には男女二十三チームが参加し熱戦を展開しました。写真。



その結果、一般男子は伊原間公民館、一般女子はスポーツショップイーグルが優勝を

飾りました。体重の軽いジュニアの部は、男女とも大浜中三年四組がアベック優勝を成し遂げました。



**障害者フェスタ
踊りやゲーム楽しむ**

「ふれあい 第十六回八重山地区障害児者フェスティバル広場」が、十一月二十五日に石垣市総合体育館サブアリーナで開催されました。国際障害者年を契機に始まった

もので、福祉のまちづくりと障害者の社会参加の促進がねらいです。写真。
フェスティバルには障害者や家族、八島小学校、大浜中学校の児童生徒、民生委員、ボランティアら多数が参加。全体レクリエーションで稲しり節などの踊りや手話ソングのほか、ボール送りや輪投げ、綱引きなどの各種ゲームを心ゆくまで楽しみました。



**石垣島産
かまぼこは最高**

石垣島産かまぼこは最高。第五十四回全国蒲鉾品評会（主催・全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会）で、市内のマーミヤールかまぼこ（金城力代表）の出品した「もずくかまぼこ」が、最高賞にあたる

農林水産大臣賞を受賞、かまぼこ日本一の栄誉に輝きました。そのほか、同品評会ではかみやき小かまぼこの「マルグアー」が防府市長賞、金城かまぼこの「マルグアー」が大日本水産会会長賞をそれぞれ受賞、石垣島産かまぼこが賞を総なめにするなど品質、美味しさなどの優秀性を全国に証明しました。

**交通安全功労で受賞
理容業の辻弘さん**

市内登野城で理容業を営む八十五歳の辻弘さんが、十一月十八日に沖縄市で開かれた「沖縄県交通安全フェア二〇〇一」で、交通安全功労者として県知事表彰を受けました。同二十二日には、市に受賞を報告。辻さんは「元気の続く限り、交通安全に励みたい。子ども達からお礼の手紙をもらう時が一番幸せ」と話していました。写真。

辻さんは理容業を営む傍ら、一九八六年から自宅前の交差点で通勤・通学時にボランティアの交通安全活動を続けています。



**記念碑を建立
伊野田入植50周年**

伊野田地区の入植五十周年を祝う記念式典が、十一月四日に行われました。公民館敷地内に建立された記念碑の除幕も行われ、開拓移住の苦労を偲ぶとともに、これからの発展を祈念しました。写真。



↑11単位婦人会が伝統芸能などを披露した石婦連の25周年記念芸能大会

**和と輪で華々しく
石婦連25周年芸能大会**

伊野田地区は、一九五一年に第一次として二十一世帯、一九六〇年までに沖繩本島の大宜味村を中心に計八十二世帯が入植しました。現在、六十二世帯、百六十四人が生活しています。
「もとはおそれし有病地」五十周年記念碑に刻まれた「開拓の詩」の一節です。当時の人たちの開拓魂が伝わってきます。

石垣市婦人連合会結成二十五周年を記念した第十七回芸能大会が、十一月十八日に市民会館大ホールで開かれました。今回のテーマは「和と輪で地域文化の創造と継承」。十一単位婦人会から百五十人余りが出演して、華々しく各地域の特色ある芸能や創作舞踊を披露しました。
芸能大会は地域文化の継承・創造を図り、あわせて会員の親睦と団結、会活動の活性化を目的に隔年ごとに開かれているものです。今回は二十五周年の節目を祝う大会とあって大きな盛り上がりを見せました。
舞台は渡慶次美智子会長をはじめとする役員一同による「鷺の鳥節」で、華々しく幕開けしました。平得婦人会の「仲良田節」、大川婦人会の「豊穰の祈り」、大浜婦人会の「むらあしび」などが続き、休憩を挟んだ後半には石垣婦人会の「正月ユンタ」、双葉婦人会による勇壮な「婦人エイサー」などが次々に演じられると、会場から大きな拍手が送られました。

幕閉めは全員によるフィナーレ。舞台いっぱいには繰り広げられるにぎやかなモーターは圧巻そのもの。婦人たちのパワーあふれる群舞に、いつまでも拍手が鳴り響きました。

石婦連は一九七五年に結成。ごみ減量化とリサイクル、花いっぱい運動など地域に土に根ざした諸活動を展開しています。その活動が認められ、今年の九月に第二十三回し新生活運動九州地区研究大会で「あしたの日本を創る協会」から表彰されました。

**八重山厚生園の移
転新築始まる**

県立八重山厚生園の移転新築工事が、始まりました。十一月十二日にピーチホテル・サンシャイン北方の造成された建設用地で安全祈願祭が行なわれました。新築される厚生園は、一万七千六百二十平



方メートルの敷地内に延べ床面積四千八百二十二平方メートルの二階建て三棟の鉄筋コンクリート、赤瓦造りになっています。写真。
県発注の大型公共工事で、総工費は約二十二億円。工期は二〇〇二年九月中旬で、年内の移転・供用開始が予定されています。

施設は養護老人ホーム、特別養護老人ホームのほか、ショートステイを新設、個室五十四室、二人部屋十一室、四人部屋八室の計七十三室で、百八人のお年寄りが入所できます。移転新築により、入所定員が八人増えました。

また、宿泊が可能な地域交流施設やボランティア室、談話コーナーも設けられます。

初の八重山観光めぐり

観光客の視点で実施



↑初めて行われた八重山観光連絡協議会による観光地めぐり（川平公園）

八重山三市町で構成する八重山観光連絡協議会による初の八重山観光めぐりが、十一月二十日に行われました。これには行政をはじめ観光関係者二十一名が参加し、午前十時の出発式では、又吉政孝会長が「観光施設や観光商品等が観光客に受け入れられているか等をガイドの案内を聞きながら確認していただきたい」とあいさつしました。その後、実際に日頃観光客が

利用している石垣島観光西回り一周コースをめぐり、観光名所の権現堂、唐人墓、御神崎、川平公園、玉取崎展望台、底原ダム等を視察しました。ガイドは西里広美さんが当たり、八重山の産業、歴史、文化、伝統芸能等を分かりやすく、ユーモアを交えながら説明していました。観光めぐりを終えての懇親会では、八重山観光に対するいろいろな意見が出され、特

に「御神崎は牧歌的であるが、草花を植えるなどして観光客の目を楽しませてほしい」「川平湾のグラスボートは景観上、移動した方がよい」との指摘や、「八重山観光は自然が豊富で、いくらでも伸びる可能性を秘めている」などの意見もありました。なお、この八重山観光めぐりは来年竹富町、再来年は与那国町で巡回して実施する予定となっています。

平成14年1月から

所得税の確定申告書が新しくなります。

納税者の方々からの改善の要望にお応えして、平成14年1月から使用する所得税の確定申告書を新しくしました。

様式を2種類に

現在の6種類ある申告書を2種類に統合しました。

用紙がA4サイズに!

「用紙が扱いにくい。」という声にお応えしました。

用紙が2枚に!

裏面から表面への転記の煩わしさを改善しました。

記載欄を整理

申告書の小さい文字の説明文や計算式を整理し、見やすい様式にしました。

分離課税用などが別表に

申告書の統合により、分離課税用申告書と損失申告書、修正申告書を別表にしました。

平和の鐘を響かせよう 元旦に新春自由鐘打

世界平和の鐘の会では、新しい年の幕開けに平和の鐘を打ってもらい、石垣島から世界の恒久平和を祈念する鐘の音を響かせようと、1月1日の元旦に「新春自由鐘打」を行います。多くの市民が気軽に訪れ、自由に鐘打してほしいと呼びかけています。

鐘打できる日時

2002年1月1日 元旦

午前10時～午後3時

場所 新栄公園平和の鐘広場

秋の火災予防運動

火災は人災。注意すれば防げます。平成十三年度の秋の火災予防運動が十一月九日から十五日までの一週間、全国一斉に行なわれました。



石垣市消防本部（嵩田勤消）

ボランティア清掃ごみの回収について

「回収できるごみ」

道路、公園、海岸等の公共の場所を清掃した団体のごみ。（団地内、空き地等の個人及び団体の清掃義務範囲にあるのは除く）

「その前に」

ボランティア清掃活動を行う時は、清掃区域及びごみの置き場所等を事前に申請して下さい。（申請場所は生活環境課に準備してあります）

「守ってください」

ごみは必ず燃やすごみ、燃やさないごみに分別してください。分別しないごみは、収集できませんので必ず分別してください。

市役所生活環境課資源化推進係 電話 2-1285

ボランティア清掃活動を行った団体（1月～10月）

- (1月) 沖縄県PTA 研究会・八重山大会実行委員会
- (2月) 八重山高校3年生「卒業記念ボランティア実行委員会」、倫理研究所、新川小学校(4年生)、新川小学校
- (3月) 古原小学校
- (4月) イルカ&クジラ救援プロジェクト
- (5月) 伊原間中学校
- (6月) 川平ダイビング協会、新川小学校、ビーチ・クリーン・グループ
- (7月) 石垣市商工会女性部、25トラの会
- (8月) 八重山マラソンクラブ、伊野田地域子供会、石垣市商工会女性部、大浜公民館自警部
- (9月) 高田子供会、崎枝小学校、美崎町マントクラブ、新栄町老悠さわやかクラブ
- (10月) 石垣市商工会女性部、新栄町老悠さわやかクラブ、八島小4学年PTA、倫理研究所

平成13年度生ごみ処理利用容器販売指定店

山城鋼材	平得19-3	2-5864
畑の実	登野城1027-1	2-2290
美崎プロパン	浜崎町2-3-21	2-3670
豊川電気商会	美崎町8-3	2-2416
亀谷ジョッピ	新川12427	2-3153
インガバル		
花の花緒里	大川199-1	2-3650

生ごみ処理容器を指定店より購入しますと、2分の1の補助(上限3千円)。市民の皆さん、処理容器を購入し堆肥化に努めましょう。

●詳しい事は、生活環境課までご連絡下さい。 電話 2-1285

新成人よ集え!!

晴れて二〇〇二年に成人を迎えられる皆さん、本当におめでとうございます。石垣市では二十一世紀を担

う皆さんの晴れの門出を祝う成人式を一月四日に、石垣市民会館大ホールで開催します。新成人の皆さんの多数参加を呼びかけています。なお、父母席を百席設けてあります。

当日の日程は次の通りです

- 受付・正午
- 式典・午後一時～
- アトラクション・午後一時五十分
- 閉会・午後二時二十分

※成人式典及び成人者名簿などにに関する問い合わせ
※市教育委員会社会教育課
電話・310373

年末年始の業務について

市役所の業務は、年末十二月二十八日(金)まで行い、新年は一月四日(金)から開始します。

なお、出生届、婚姻届、死亡届、火葬許可等の業務は休みの間(十二月二十九日～一月三日)も受け付けいたします。

救急診療所

十二月二十九日(土)から一月三日(木)までの診療業務

●午前の部 午前九時～正午まで

●午後の部 午後二時～午後五時まで

●夜間の部は午後七時～午前零時まで診療業務を行いません。

●受付時間は診療開始三十分前から診療終了三十分前までです

市立保育所

大川・新栄町・登野城・石垣・新川・伊原間・川平の市立保育所の保育業務は年末二十八日(金)まで行い、新年は一月四日(金)から行います。

ごみ収集等(生活環境課)

●ごみ収集 ●燃やすごみ・燃やさないごみなど(年末は十二月三十一日まで、年始は一月四日から) ●そ大ごみは(年末は十二月二十八日まで、年始は一月四日から) ●し尿処理場は十二月三十一日(月)まで業務を行いません。 ●ごみ処分場は十二月三十一日(月)午後五時で搬入を終了します。新年はいずれも一月四日(金)から平常通り業務を行いません。

クリーンセンター

●ごみの搬入は十二月三十一日(月)午後五時で終了します。

新年は一月四日(金)から平常通り業務を行いません。

●市民会館・文化会館・青少年センター・平得公民館

十二月二十九日(土)から一月三日(木)まで休館です。

大濱信泉記念館

十二月二十九日(土)から一月三日(木)まで休館です。

図書館・博物館

十二月二十九日(土)から一月三日(木)まで休館です。

総合体育館・サッカーパークあかんま

十二月二十八日(金)から一月四日(金)まで休館です。

中央運動公園

十二月二十八日(金)から一月四日(金)まで休場です。

沖縄県地場産業振興事業費補助事業の募集

県では、本県の地場産業の振興を図るため、補助事業である地場産業総合振興対策事業を実施しています。平成14年度においても、下記の事業について募集します。

記

1 対策事業

- ①新商品開発能力育成等事業
- ②地域人材確保・養成事業
- ③地場産品展示・普及等支援事業
- ④地域資源等活用型起業化等事業
 - ①～④いずれも補助率：補助対象経費の10/10以内 補助額：概ね300万円程度

2 助成対象者

- ①事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会
 - ②商工組合
 - ③酒造組合、酒造組合連合会
 - ④水産加工業組合協同組合、水産加工業協同組合連合会
 - ⑤民法第34条の規定により設立された法人であって、地域中小企業の振興を図る事業の実施主体として適当と認められる公益法人
 - ⑥中小企業庁長官が定める基準に合致するその他の団体
「地域資源等活用型起業化等事業」については、上記①～④に加えて、
 - ⑦商工組合連合会、企業組合、協業組合
 - ⑧共同出資会社
 - ⑨4人以上の中小企業者が協力して、地域資源等の活用による起業化事業を行なおうとする中小企業者であって、県知事が適当と認めたもの
- 募集締切り：平成14年1月11日（金）
●問い合わせ：沖縄県商工労働部工業・工芸振興課
工業振興係
TAL：(098)866-2337 FAX：(098)866-2447

市立幼稚園園児募集のお知らせ

石垣市教育委員会では、平成14年度石垣市立幼稚園の園児を下記のとおり募集します。

詳しいことは市教育委員会学校教育課、又は各幼稚園にお問い合わせください。

入園資格 市内に在住する満5歳児

(平成8年4月2日生～平成9年4月1日生ままで)

●わかば、みやまえ、やえやま、かわはら、みやなが、しらほ、いのだ、ひらくぼ、なぐら、のそこ、あかし幼稚園については、満4歳児も募集する。

(平成9年4月2日生～平成10年4月1日生ままで)

募集期間 平成14年1月23日(水)～1月24日(木)
午後2時～午後4時までの間

申込場所 各幼稚園

通園区域 各幼稚園区（小学校の校区に準ずる）を守ってください。

入園手続 本人同伴で住民票抄本（入園児）1通、印鑑、ハガキを持参してください。

問い合わせ 石垣市教育委員会 学校教育課
電話 2-4701 2-2604



職場でのトラブル解決を労働局がお手伝いします

企業組織の再編や人事労務管理の個別化等に伴い、解雇や労働条件の不利益変更等労働関係に関する事項について、個々の労働者と事業主との紛争（個別労働紛争）が増加しています。

このため、これらの紛争の簡易・迅速な解決を促進するため、平成13年10月1日から「個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律」が施行されました。

沖縄労働局では、「総合労働相談コーナー」（電話098-868-6060）を設け、労働問題に関するあらゆる分野の相談について、ワンストップで対応することとしています。

全国一斉「過労死」等相談

趣旨 「過労死」及び「過労自殺」等の労災補償の各種相談に応じます

主催 厚生労働省・（財）労災年金福祉協会

日時 毎月第2月曜日 午前10時～午後4時

場所 （財）労災年金福祉協会 沖縄労災年金相談室

電話 0120-603-114（フリーダイヤル）